



2019年5月期

決算説明資料

(2018年6月1日～2019年5月31日)



会社沿革



1966年(昭和41)	3月	石川県能美郡寺井町(現 石川県能美市吉光町)にて個人創業。
1971年(昭和46)	6月	鉄筋加工機・鉄骨加工機の製造販売を目的に、資本金5,000千円にて株式会社竹田機械製作所(現商号 タケダ機械株式会社)を設立。
1973年(昭和48)	5月	販売拠点拡充のため九州、大阪、東京の各営業所を開設。
1976年(昭和51)	10月	販売拠点拡充のため仙台営業所を開設。
1979年(昭和54)	9月	販売拠点拡充のため名古屋営業所を開設。
1980年(昭和55)	1月	販売拠点拡充のため竹田機械販売株式会社(現 タケダ機械株式会社)広島営業所を開設。
1985年(昭和60)	4月	販売拠点拡充のため竹田機械販売株式会社(現 タケダ機械株式会社)北関東営業所を開設。
1986年(昭和61)	8月	本社総合事務所を建設し、事務及び業務合理化のためコンピューターを設置。
1990年(平成2)	6月	竹田機械販売株式会社を吸収合併、同時に商号をタケダ機械株式会社に変更。
	11月	東京営業所社屋新築。
1992年(平成4)	7月	日本証券業協会に店頭登録。
1994年(平成6)	4月	現在地に本社及び工場を移転。
2000年(平成12)	5月	子会社株式会社タケダテクニカルを吸収合併。
2004年(平成16)	12月	株式会社ジャスダック証券取引所に株式を上場。
2006年(平成18)	10月	欠損金填補のため資本準備金及び資本金を減少。
2008年(平成20)	12月	株式会社アマダカッティング(現 株式会社アマダマシンツール)と業務提携を行う。
2009年(平成21)	5月	タケダ精機株式会社を子会社化。

会社概要

- 創業 : 1966年(昭和41年)3月
- 設立 : 1971年(昭和46年)6月
- 資本金 : 18億7,408万円
- 代表者 : 代表取締役社長 竹田雄一
- 従業員数 : 202名(正社員180名、準社員22名)【連結】
- 敷地面積 : 44, 149m²
- 所在地 : 石川県能美市粟生町西132番地
- 生產品目 : 形鋼加工機、丸鋸切断機、金型、その他(受託事業)
- 取引銀行 : 北國銀行、福井銀行、商工中金、三菱UFJ銀行
- 営業所 : 仙台、北関東、東京、名古屋、北陸、大阪、広島、九州
- 駐在所 : マレーシア駐在所
- 納入先 : 鉄骨・鋼材加工会社、製缶・板金加工会社、その他金属加工会社
- 代理店 : 機械工具関連商社、溶材関連商社、鋼材関連商社

株主構成

●株主の状況(2019年5月末現在)

	株主総数		構成比率	発行済株式総数		構成比率
個人	844	名	91.0%	695,766	株	68.2%
金融機関	5	名	0.5%	89,600	株	8.8%
法人	49	名	5.3%	153,880	株	15.1%
証券会社	18	名	1.9%	9,292	株	0.9%
その他	12	名	1.3%	71,462	株	7.0%
合計	928	名	100.0%	1,020,000	株	100.0%

会社所在地



● 交通

- ・JR北陸本線小松駅下車 タクシー約15分
- ・小松空港 タクシー約20分



事業内容

当社グループの事業内容は、鉄骨・鋼材・製缶板金などの加工を中心とする形鋼加工機、多彩な鋼種の高速高精度切断を中心とする丸鋸切断機の製造販売及びこれに付帯する一切の業務を行っています。

形鋼加工機

鉄骨・鋼材の加工並びに製缶板金加工の業界を主力市場とし、建築物や橋梁などの鋼構造物に使用する形鋼材の穴あけ・切断・その他の加工機械を製品としています。

その他(受託事業)

当地工作機械メーカーやマテハンメーカーなどの受託生産をしています。

丸鋸切断機

パイプを含む多彩な鋼種の切断業界を主力市場とし、自動車部品・建機部品・ショーケースなどで使用する無垢材・パイプ材・軽量形鋼を高速高精度で切断する加工機械を製品としています。

部 品

自動化に対応する搬入搬出装置や消耗部品・修理部品の補給並びに管理を行っており、部品に関しては「当日出荷」を基本とする在庫管理体制を整えています。

金 型

形鋼加工機での搭載及びプレスに単品搭載して使用するユニット式金型で、加工内容に応じて多種多様な加工に対応出来る金型を豊富に揃えています。

サービス

製品の納入・据付・試運転、有償修理、アフターサービスなどを主力業務とし、ユーザー様との信頼関係を構築し、「顧客満足度の向上」を図る体制で対応しています。

形鋼加工機

● 主な納入先

- ・ファブrikーター（建築鉄骨加工業）
- ・製缶板金加工業
- ・ハウスメーカー
- ・橋梁
- ・造船
- ・胴縁加工業
- ・その他形鋼加工業

UWF-150Ⅲ
(全自動ユニットワーカー)



UWD-70ⅡS
(ユニットワーカー)



CBF-3015Ⅱ-ATC
(ドリル丸鋸複合機)



ABM-1530G
(多機能型オートポラー)



丸鋸切断機

● 主な納入先

- ・自動車関連企業
- ・部品加工業
- ・鍛造業
- ・パイプ切断業
- ・鋼材切断業
- ・その他切断業

CHL-2515A II
(形鋼用丸鋸切断機)



CS-75A II
(無垢材用丸鋸切断機)



CM-1010KKS
(角度切り丸鋸切断機)



金型

● 主な納入先

- ・プレス／板金加工業
- ・製缶／鉄骨加工業
- ・アルミ型材加工業
- ・輸送機関連製造業
- ・各種金属関連製造業

■ パンチ金型(穴あけシリーズ)



■ 切断シリーズ



■ 切欠シリーズ1



■ 切欠シリーズ2

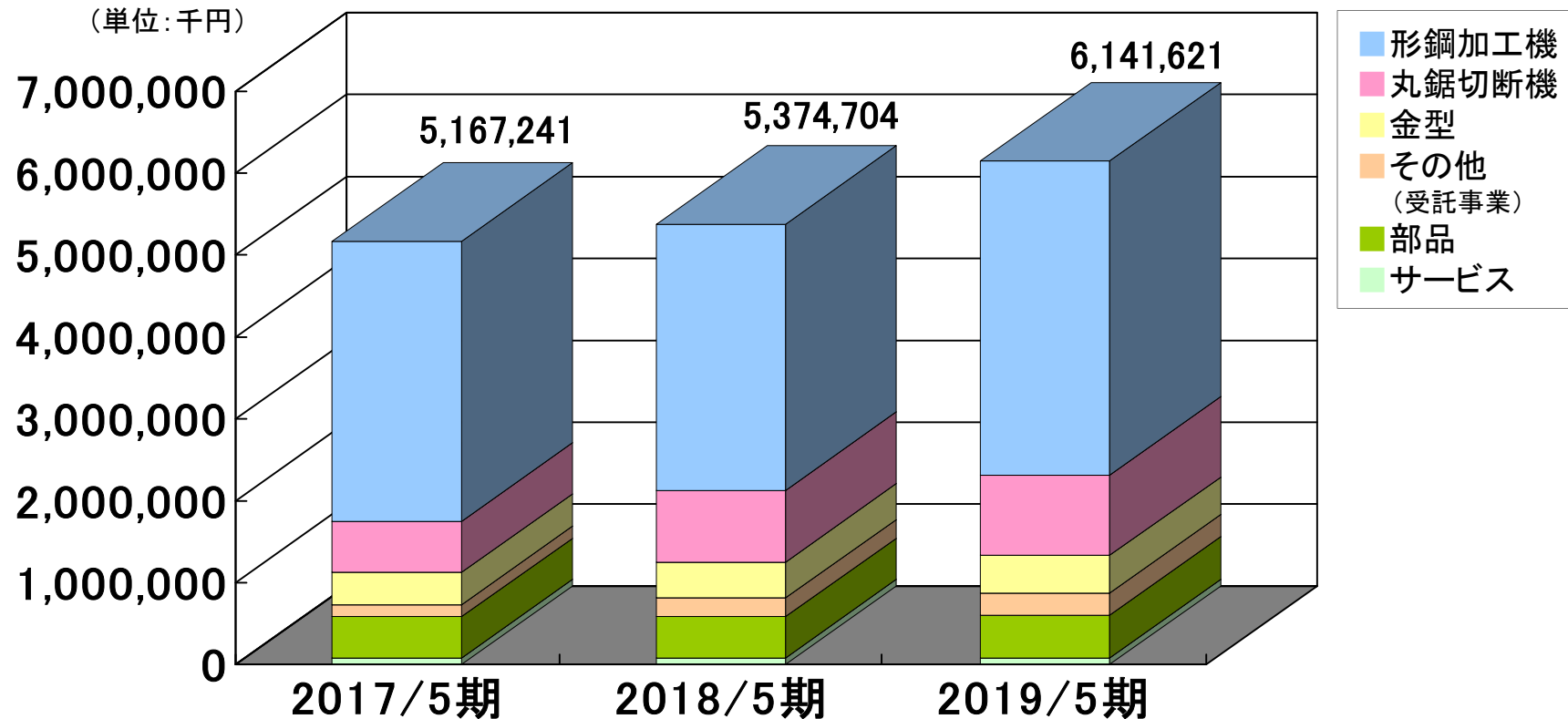


■ その他シリーズ



2019年5月期 業績状況

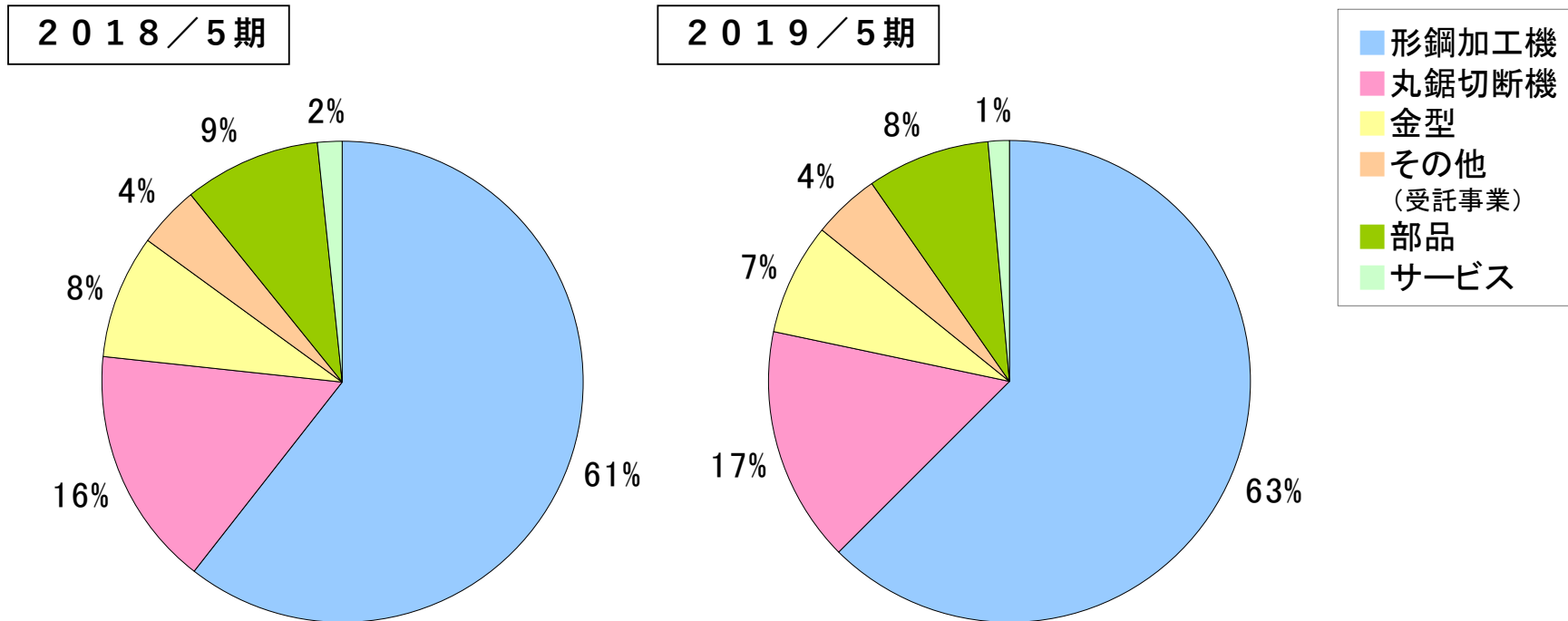
売上高【連結】



当期連結会計年度における我が国経済は、米中貿易協議が本格化し、輸出型企業の業績に慎重な見方が広がる一方で、内需型企業は堅調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは「お客様視点のものづくり」を基本原点に、新製品開発の促進、提案営業の展開、保守サービスの充実、付加価値の改善等に積極的に取り組み、とりわけお客様の人手不足による労働環境の逼迫を受け、省人化、省段取りに対応した製品販売が好調に推移いたしました。

売上構成比の比較【連結】



●部門別売上高

(単位: 千円)

	形鋼加工機	丸鋸切断機	金型	その他	部品	サービス	合計
2018/5期	3,248,967	868,753	452,092	220,863	497,760	86,267	5,374,704
2019/5期	3,831,484	983,797	455,316	276,086	508,170	86,766	6,141,621

貸借対照表【連結】

(単位:千円)

	2018/5期	2019/5期	前期比増減額
流動資産	3,662,009	4,001,871	339,861
固定資産	2,610,097	2,382,629	▲227,468
資産合計	6,272,107	6,384,500	112,393
流動負債	2,122,386	1,902,083	▲220,303
固定負債	959,561	736,448	▲223,113
負債合計	3,081,948	2,638,532	▲443,416
資本金	1,874,083	1,874,083	—
剰余金等	1,316,075	1,871,884	555,809
純資産合計	3,190,159	3,745,968	555,809
負債・純資産合計	6,272,107	6,384,500	112,393

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」を適用しております。

損益計算書【連結】

(単位:千円)

	2018/5期	2019/5期	前期比増減額
売上高	5,374,704	6,141,621	766,916
売上原価	3,787,579	4,283,185	495,606
販売費・一般管理費	936,047	1,015,311	79,264
営業利益	651,078	843,124	192,046
営業外損益	10,627	17,995	7,367
経常利益	661,706	861,120	199,414
特別損益	228	49,382	49,153
法人税等その他	210,269	270,278	60,009
親会社株主に帰属する 当期純利益	451,665	640,224	188,558

キャッシュ・フロー計算書【連結】

(単位:千円)

	2018/5期	2019/5期	前期比増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	407,671	769,357	361,685
投資活動による キャッシュ・フロー	▲45,416	10,625	56,042
財務活動による キャッシュ・フロー	▲492,796	▲548,532	▲55,735
現金及び現金同等物に 係る換算差額	▲1,270	470	1,741
現金及び現金同等物の 増減額(▲は減少)	▲131,812	231,920	363,733
現金及び現金同等物の 期末残高	206,656	438,576	231,920

2020年5月期 業績予想

2020／5期通期予想1

次期連結会計年度における我が国経済は、米中貿易協議の長期化による世界経済の下押しリスクに加え、消費税増税や慢性的な人手不足による企業業績への悪影響が懸念されています。

このような環境の下、当社グループは都市圏の鋼構造物プロジェクト、国土強靱化基本計画による国内インフラ補強などの継続的な内需に加え、省力化・効率化機種ニーズに支えられ底堅く推移するものと思われれます。

2020／5期通期予想2【連結】



●売上高の実績及び予想

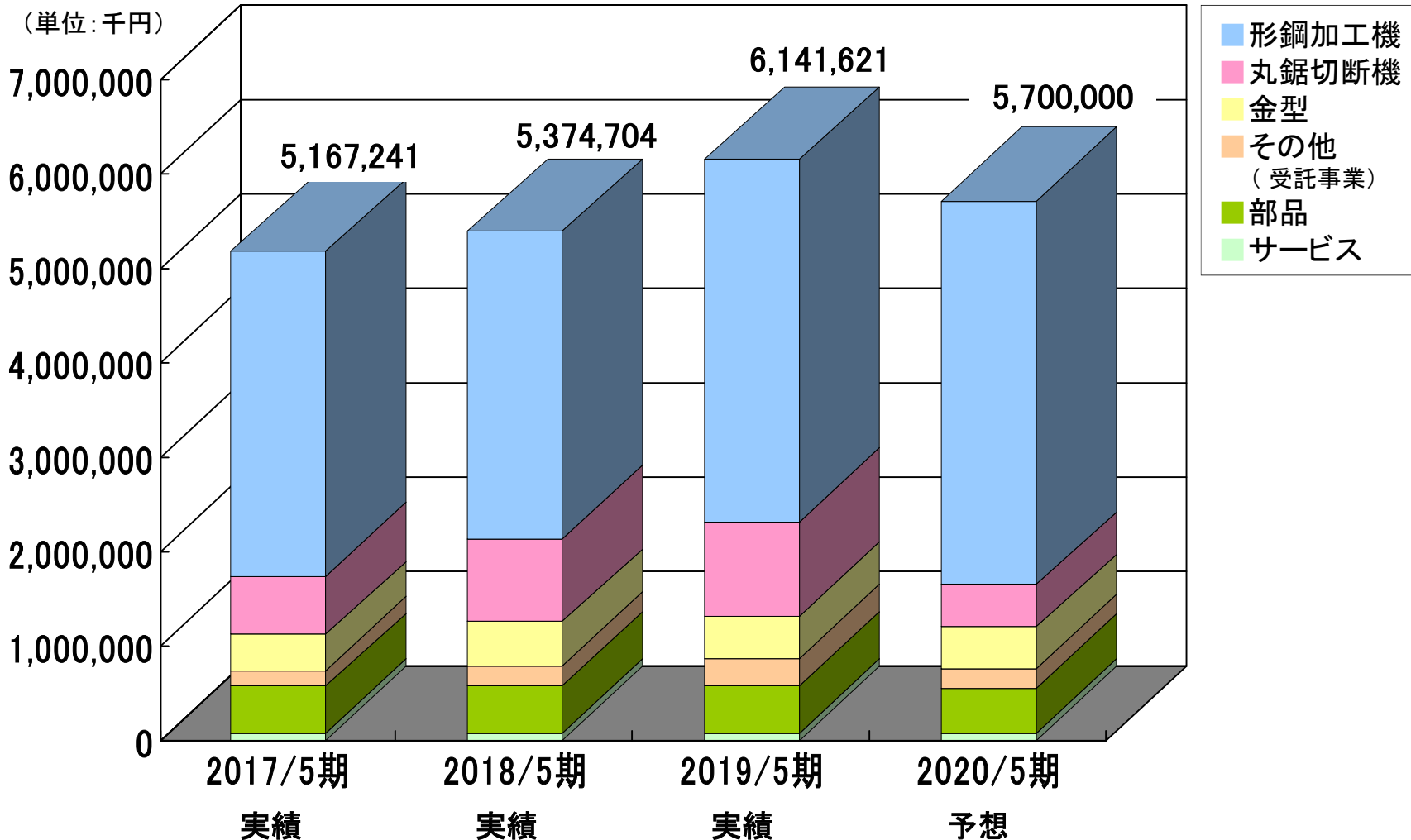
(単位:千円)

	2019／5期 (実績)	2020／5期 (予想)	構成比率	前期比 増減率
形鋼加工機	3,831,484	4,050,000	71.1%	5.7%
丸鋸切断機	983,797	450,000	7.9%	▲54.3%
金 型	455,316	426,000	7.5%	▲6.4%
その他(受託事業)	276,086	210,000	3.7%	▲23.9%
部 品	508,170	468,000	8.2%	▲7.9%
サービス	86,766	96,000	1.6%	10.6%
合 計	6,141,621	5,700,000	100.0%	▲7.2%

2020 / 5期通期予想3【連結】



●売上高構成比の増減予想



2020／5期通期予想4【連結】



●損益計算書の実績及び予想

(単位:千円)

	2019／5期 (実績)	2020／5期 (予想)	前期比 増減率
売上高	6,141,621	5,700,000	▲7.2%
売上原価	4,283,185	3,850,000	▲10.1%
販売費・一般管理費	1,015,311	1,000,000	▲1.5%
営業利益	843,124	850,000	0.8%
営業外損益	17,995	15,000	▲16.6%
経常利益	861,120	865,000	0.5%
特別損益	49,382	0	—
法人税等その他	270,278	285,000	5.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	640,224	580,000	▲9.4%

I R 情報に関するお問合せ先

I R 窓口担当者 : 取締役管理部長 鈴木 修平
連絡先 : TEL. (0761)58-8231
FAX. (0761)58-6863
E-mail kanri@takeda-mc.co.jp
URL <http://www.takeda-mc.co.jp>

☆ご注意

本資料内の予想数値及び計画数値、事業戦略等につきましては、発表日時点において把握していました情報から、当社が合理的と判断したものを掲載しています。

従いまして、経済環境、事業環境の変化にともない、実際の業績等と異なる場合がありますことを、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。